

第七十四回帝國議會
衆議院

保險業法改正法律案委員會會議錄(速記)第三回

付託議案
保險業法改正法律案(政府提出)

會議

昭和十四年三月一日(水曜日)午前十時二十七分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 田中 亮一君

理事寺島 權藏君 理事木村 淺七君

理事金澤 正雄君 理事西川 貞一君

八木 逸郎君 大野 伴陸君

紅露 昭君 田尻 生五君

小池 四郎君

出席政府委員左ノ如シ

商工政務次官 今井 健彦君

商工省保險局長 牧 檜雄君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

保險業法改正法律案(政府提出)

○田中委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、是

カラ質疑ニ入リマス、通告順ニ依ツテ金澤

君ニ許シマス

○金澤委員 生命保險ニ付テデアリマスガ、

一體生命保險ト云フモノハ、生命保險ノ性

質上、契約ノ當時ト、ソレカラ事故ガ發生

シテ保險金額ヲ貰フト云フマデノ間ハ、相

當長年月ニ互ルト云フノガ普通ノ狀態デア

リマス、隨テ契約當時ニ於キマシテ千圓ノ

保險契約ヲスルト致シマシテ、ソレヲ受取

ルマデニハ、或ハ二十年、三十年、長イノ

ニ至ツテハ四十年ト云フ譯ニナルノデアリ

マスルガ、契約當時ノ其ノ金額ノ購買力、

例ヘテ言ヒマス、今カラ三十年モ前ニハ

米ノ値段ガ十圓デアツタモノガ今ハ三十八

圓モスルト云フヤウニ、金額ノ購買力ト云

フモノガ非常ナ差ヲ生ズルト云フノガ普通

デアリマシテ、最近ノ變動ト云フモノハ、

金一匁五圓ノモノガ十四圓幾ラト云フコト

ニナツタダケデモ大變ナ違ヒデアリマスル

ガ、サウ致シマスルト、千圓ノ保險金ニ付

テ、其ノ時ニ順々ニ拂込ミマスル時ノ金ノ

値打ト云フモノト、受取ル時ノ値打ト云フ

モノトハ相當開キノアルト云フノガ普通デ

アルト私ハ考ヘルノデアリマス、斯ウ云フ

點ガ一ツ、ソレカラ又保險會社ニ於キマシ

テハ、拂込金ニ依ツテ餘裕ノツイタ可ナリ

ノ金額ヲ、色々ノ運用ノ便宜ノ上カラ都會

ニ投資サレルト云フコトガ、又現實ノヤウ

ニ思フノデアリマス、隨テ全國カラ集ツタ

金ガ田舎ノ方ノ企業費ニハ殆下使ハレナイ

デ、大都會ニ於ケル企業費ニ使ハレテ、都

會集中ト云フヤウナ形ガ行ハレテ居ルヤウ

ニ思ハレルノデアリマス、又モウ一ツノ點

ハ、保險ト云フ事業ハ廣範圍ニ於テ非常ニ

多クノ人ガ之ニ加入スルト云フコトガ、一

番經營ニ便利ノヤウニ思ハレル、言換ヘレ

バ、斯ノ如キ廣イ範圍ニ於キマシテ大變ナ

數ガ契約者ノ中ニ入ルト云フコトニ依ツテ

經營ガ樂ニナルト同時ニ、保險料ヲ安クシ

テモヤツテ行ケルト云フ順序ノヤウニ私ハ

考ヘテ居ルノデアリマスガ、當局ノソレニ

關スル御所見ハ如何デアルカ、一ツ伺ヒタ

イ

○牧政府委員 御答申上ゲマス、金澤サン

ノ仰シヤル通りデアリマシテ、契約ヲスル

時ト、事故ガ發生シマシテ保險金ヲ受取ル

場合ノ金ノ値打ト申シマスガ、ソレガ長年

月ニ互レバ互ル程値打ガ下ルヤウナ關係ニ

立ツダラウト思フノデアリマス、殊ニ最近

ノヤウニ低金利ノ時代ニナリマス、金ノ

値打ハ先ニ行ケバ行ケ下ルヤウナ傾向ニ

アリマス、隨ヒマシテ保險契約ニ於キマシ

テハ、御指摘ノヤウナコトガアルコトハ、

是ハ免レナイ事實デゴザイマス、私共モ左

様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレカラ

保險ニ依リマシテ相當ノ資金ガ集リマスガ、

其ノ資金ノ投資ニ付キマシテハ、本日御手

許ニ差上ゲマシタ投資狀況デ御覽ノ通り相

當有價證券ガ多イノデゴザイマス、其ノ有

價證券モ御承知ノ通り其ノ企業ガ都會地ニ

集中セラレマス關係上、結局都會地ニゴザ

イマスル企業ニ投資サレテ居ルノガ多イノ

デアリマス、併シナガラ最近地方自治體ニ

對スル貸付等ガ相當多クナツテ參ツテ居リ

マシテ、必ズシモ今後今マデノヤウナ傾向

ヲ尙ホ續ケテ行クモノダトハ思ツテ居リマ

セヌ、殊ニ會社ニ依リマシテハ相當地方自

治體ニ金ヲ貸シテ居ルヤウナ次第デアリマ

ス、ソレカラ最近保險會社ノ資産ノ投資ノ

一ツノ方法ト致シマシテ、契約者ニ對シマ

シテ證券擔保ノ貸付ト云フモノガゴザイマ

スガ、證券ヲ擔保ニシテ貸付スルノガ相當

多クナツテ居リマス、サウ云フ事情デゴザ

イマシテ、御指摘ノヤウナ點ハゴザイマス

ガ、是ハ企業其ノモノガ都會地ニ多イト云

フ關係カラ來ルノダラウト考ヘラレルノ

デアリマス、ソレカラ最後ノ、保險ト云フ

モノハ多數ノ者ガ加入スルコトニ依リマシ

テ、保險料ガ安クナルヤウナ關係ガアルデ

ハナイカト云フ御尋デゴザイマスガ、御承

知ノ通り保險ハ成タケ多數ノ者ガ團體ヲ構成シマシタルコトガ、危險分散ノ上カラモ必要デゴザイマシテ、成タケ大キナ團體ニスルコトガ理想デゴザイマス、隨テ我國ノヤウニ日本全國ヲ地域トスル大キナ保險團體ノ出來テ居ル所デハ左程デアリマセヌガ、成タケ大キイ團體ニシマシテ危險分散ヲスル、サウ云フ見地カラヤツテ居リマシテ、尙ホ一面ニ於キマシテハ、御指摘ノヤウニ加入者ガ多ク、保險料ガ澤山アルト云フコトニ依リマシテ、事業費ノ節約等色々經營上ノ便宜ヲ得ル爲ニ保險料ガ安クナル、大キナ資産ヲ持つテ居リマシテ、ソレヲ有效ニ利用シマスルコトニ依ツテ收入ヲ多ク圖ル、隨テソレヲ契約者ニ配當スル、結局ハ保險料ヲ安クスルト云フヤウナ關係ニナルデアラウト考ヘルノデアリマス

○金澤委員 保險會社ノ四十年五十年經ツテ居ル舊イ會社ハ、大體ニ於テ二割五分トカ三割トカ云フヤウナ高率ノ配當ヲシテ居ルノガ現實ノ狀況デアリマス、是ハ如何ニモ或ル程度其ノ經營方法宜シキヲ得タコトモアルデアリマセウガ、保險會社ト云フモノガ新シイ會社ハ別ト致シマシテ、總テ舊イ會社ハサウ云フ風ナ高率ノ配當ヲシテ樂ナ經營ヲシテ居ルト云フノガ現實デアリマス

ルガ、外ノ事業ニ於キマシテハドノ會社モ此ノ會社モ其ノ經營ガ皆良イト云フ譯ニモ行クマイト思ヒマス、隨テ其ノ配當モ皆良イト云フ譯ニハ行カナイノデアリマスガ、保險會社ニ限ツテハ全部高配當ヲ致シテ居ルト云フノガ事實デアリマス、是等ハヤハリ今申シタヤウナ原因カラ、特ニ生命保險營業ヲヤツテ居ルト云フ所ニ特別ノ利益ガ見ラレルト御考ニナリマセウカ、其ノ點一ツ御所見ヲ伺ヒタイ

○牧政府委員 保險會社中ニ相當高率ノ配當ヲシテ居ルモノノアルコトハ事實デゴザイマス、御承知ノ通り保險會社デハ時ニ四年目毎トカ五年目毎ニ大決算ト申シマシテ決算ヲ致シマシテ、其ノ際生ジタル利益金ヲ記念配當ト云フヤウナ名稱ノ下ニ支拂ツテ居ルノガ相當アルノデアリマス、併シソレヲ均シテ見マスルト其ノ四年目毎、五年目毎ニ拂フ配當程ノモノハナイノデアリマシテ、此ノ點ハ御承知置キテ願ヒタイト思ヒマスガ、併シナガラ相當高配當アル、隨テ株價モ相當良イ値段ヲ維持シテ居ルト云フコトハ事實デゴザイマス、併シナガラ之ヲ顧ミテ此ノ利益金等ニ對シテドウ云フ割合カト云フヤウナコトヲ考ヘマスト、最近ノ生命保險事業全體ニ於キマスル利益金ハ

約一億圓ゴザイマス、其ノ中株主配當ニ向ケラレル金ハ約三百萬圓デゴザイマス、一億圓ノ中契約者ニ還元スルト申シマスカ、契約者ニ行ク金ハ八〇〇〇餘、八千何百萬圓程ハ契約者ニ還ツテ居ル譯デアリマス、隨テ御尋ノヤウニ株主配當ニ餘計持つテ行ク爲ニ其ノ契約者等ニ及ボス影響ハ、是ハ數學的ニハ無論アルノデゴザイマスガ、今申上ゲタヤウナ數字ニナツテ居リマシテ、是ガ爲ニ契約者ニ對シテドウト云フコトハ考ヘナイデ宜イノデハナイカト思ツテ居リマス

○金澤委員 私ハ株主配當ノ多イト云フコトダケデ契約者ニ損害ヲ掛ケテ居ルト云フ考デ申シタノデアリマセヌ、ドウモ保險事業ト云フモノガ、最初ニ申シマシタヤウナ理由カラ、相當時勢ノ動キノ爲ニ不當利ヲ得、ソレガ非常ナ儲カリニナルノデハナイカ、サウ云フ利益ハ、言換ヘテ見レバ此ノ戰時利得稅ノ課ツテ居ルヤウナ事業ト同ジヤウニ、私スベキモノニアラズシテ、斯ノ如キ利益ハ國家ノ利益トスベキモノデハナイカト云フ感じノ下ニ申上ゲタノデアリマス、此ノ生命保險會社ノ事業ノ外ニ簡易生命保險ト云フ國ノ事業ガアリマスガ、一寸是ハ雜誌デゴザイマスカラ、本當ハド

レダケノ數字デアルカ私ハ存ジマセヌガ、大體昭和十二年三月末ノ契約高ハ四十一億五千萬圓、新契約高ハ一年間ニ大體六億圓位ヅツ擧ゲテ居ル、收入保險料ハ二億三千三百萬圓、支拂保險金ハ七千五百萬圓デ、年末ノ資産ハ十三億圓弱アル、斯ウ云フ統計ガ雜誌ニ出テ居ルノデアリマスガ、斯ノ如キコトヲ考ヘテ見マスルト、ヤハリ色ノ點カラ考ヘマシテ、寧ロ保險ト云フモノハ國營ニスベキモノデハナイカ知ラント云フ感じガ起ルノデアリマス、保險ハ今國營ニスル考ハナイト云フコトヲ本會議デ御答辯ガアリマシタガ、ドウ云フ點デ國營ニシナイ方ガ宜イノデアアルカ、其ノ點一ツ伺ヒタイノデアリマス

○牧政府委員 保險會社ノ擧ゲマスル剩餘金利益等ハ相當大キイノデアリマスガ、是ハ見方デゴザイマス、實ハ先達テ御説明申上ゲタノデアリマスガ、資産ハ生命保險デ今約三十五億圓程デゴザイマスガ、其ノ中九十何「パーセント」カハ謂ハバ契約者ノ金ニナツテ居ルノデゴザイマス、ト申シマスノハ、責任準備金デアルトカ、支拂準備金ト云フ勘定科目ニナツテ居リマシテ、是等ハ謂ハバ契約者ニ屬スル財産デゴザイマス、隨テ其ノ契約者ニ屬スル財産カラ生ズル剩餘

金ヲ國ノ收入ニスルト云フヤウナコトハ、今ノ建前カラハ出來得ナイダラウト思フノデアリマス、國營ニ付キマシテハ議論ガゴザイマシテ、色々ナ立場カラ之ヲ是トスル説ガアリマス、併シナガラ國營ニ付キマシテ一番私共トシテ顧ミナクテハナラヌ議論トシマシテハ、民營ノ現狀ニ對スル非難カラ來ルモノデゴザイマス、現在民營ニ付キマシテハ色々弊害ガゴザイマス、是ハ私共モ認メテ居ル譯デゴザイマスガ、是等ノ色々弊害ヲ指摘サレマシテ、斯ウ云フ風ニ澤山ノ弊害ガアル以上、經營形態ニ付テ考

慮シナイ限りハ、到底此ノ弊害ヲ除クコトハ出來ナイト云フ議論デゴザイマス、之ニ付テハ私共ガ監督上注意シテ省ミナクテハナラヌ點モゴザイマスガ、色々研究シテ見マス、ソレ等ハ色々監督ノ方法ニ依リ或ハ業界ガ自肅スルコトニ依ツテ、弊害ハ除キ得ルモノデアラウト考ヘテ居ル次第デゴザイマス、尙ホ國營ニ付キマシテ色々ナ觀點カラ申ス者モゴザイマス、其ノ一例ヲ舉ゲマス、或ハ保險事業ト云フモノノ本質カラ來テ居ルモノガゴザイマス、ソレハ保險事業ハ公益的ノ性質ヲ持ツテ居リ、非營利的ニ經營サルベキモノデアルト云フコトカラ言ハレテ居ル説デアリマス、併シ非營利的事

業デアレバ必ズ國營デナクテハナラヌカト押詰メテ見マスルト、其ノ反對ノ説モ立チ得ル譯デアリマス、隨テ是等ハ議論ガ盡キナイヤウニ思フノデアリマス、其ノ他色々ノ根據ノ下ニ國營ヲ申シテ居リマスガ、私共トシテハ國營ハイケナイト云フ結論ハ決シテ出シテ居リマセヌガ、現在デハ國營ニスル方ガ宜シイト云フヤウニハ考ヘテ居ラナイノデゴザイマス、隨ヒマシテ前日ノ本會議ニ於キマシテ、大臣モサウ云フヤウナ御趣旨デ御答申上ゲタモノト考ヘテ居リマス

○金澤委員 國營ニ付テノ議論ガアリ、ソレニ付テノ反駁ガアリマシタガ、國營ト云フモノガ實際ノ經營トシテ良イカ惡イカ、或ハ今ノ民營ヲ國營ニ直シタラドウ云フ不都合ガアルカト云フコトニ付テハ、實ハマダ其ノ説明ヲ伺ツタコトガナイノデ、ソレヲ伺ヒタイノデス

○牧政府委員 今申上ゲマシタ通りニ、現在ノ保險ノヤリ方ヲ大體一口ニ申上ゲマスト、非常ニ契約者本位ニナツテ居リマス、隨テ總テノ資産等ガ契約者ノ勘定ニナツテ居ルコトハ、先程申上ゲタ通りデゴザイマス、隨テ其ノ資産カラ生ズル剩餘金等ハ、是ハ當然返スベキガ至當デゴザイマス、現

在ノ建前ガサウ云フ風ニナツテ居リマスカラ、國營ニスルコトヲ色々ナ點カラ主張スル人ガアリマスガ、國營ニスレバソレ等ノ大キイ資産ヲ國ノ公共的事業ニ用ヒルコトガ出來ルト云フヤウナコトヲ主トシテ言ツテ居ルノデゴザイマス、是ハ勿論其ノ必要モアリマスシ、現在デモ其ノ資産ヲサウ云フ方ニ向ケテ居ルモノモゴザイマスガ、其ノ色彩ヲ濃クスルト、御承知ノ通り保險ニハ豫定利率等ガゴザイマスガ、其ノ利廻ノ低下ハ免カレナイダラウト考ヘルノデアリマス、サウシマスルト、今申上ゲタヤウナ關係カラ、現在ノ保險ノ建前トハ少シ違ツタモノニナリハシナイカ、考ヲ變ヘテ掛ラナイト國營ト云フコトガ考ヘラレナイノデハナカラウカト云フヤウニ私共ハ考ヘテ居リマス

○金澤委員 今直チニ國營ニスルカ否ヤト云フ問題ニ付テハ、私ハソレ程マデニ突込シテ主張致シタイトハ考ヘテ居リマセヌ、併シナガラ國營ニシタカラト云ツテ、今會社ガヤツテ居ル契約者ノ資産計算ノ中ニ入レテ居ルト云フ建前ヲ其ノ儘採ツテモ或ハ宜イノデハナイカ、昨年ノ末ノ新シイ契約高ハ百九十五億圓デアリマスガ、新契約ガ四十一億五千萬圓カト記憶致シテ居リマス、

ソレダケノ大キイ金額ノ計算ノ下ニ於テハ、國營デアレバ計算勘定ハ勿論契約者ノ資産計算勘定ニ入レテモ、其處ニ何等ノ不都合ハナイノデハナイカ、而モ保險ノ性質上カラ云ツテ國營ニシテハナラヌト云フ理由ガ一寸諒解シ兼ねルノデアリマスガ、其ノ點ヲ尙ホ一ツ御伺シタイ

○牧政府委員 國營ヲ主張スル人ハ色々ナ意味デ申シテ居リマスガ、今仰セノヤウニ現狀ノ儘ヲ直グ國營ニ移スト云フコトニスルノデハ、餘リ意義ガ薄イノデハナカラウカ、サウ云フ風ニ大體ノ感じヲ持ツテ居ルヤウナ譯デゴザイマス

○金澤委員 色々ナ點カラ考ヘマシテ、是ハ遞信當局ニ聽クノモ一ツノ方法デアリマセウガ、保險ヲ扱フテ居ラレル商工當局ノ御方ノ御意見トシテ伺ヒタイノデアリマス、現在ノ簡易保險ノ金額ヲ尙ホモウ少シ増シテ公共的ノ意味ヲ持タセル方ガ、今日ノ場合トシテハ差當リ宜イデハナイカ知ラント云フ考ヲ私バ持ツテ居ルノデアリマスガ、商工當局ノ御意見トシテハ如何デアリマスカ

○牧政府委員 是ハ厚生省カラ御答スルノガ適當カモ知レマセヌガ、昨年四百五十圓カラ七百圓ニ引上ゲラレタ當時ノ厚生省ト

ノ折衝ヲ顧ミマシテ、私カラ御答ヲ致シマス、大體簡易保險ノ趣旨ヲ申上ゲルマデモナイノデアリマスガ、經濟ノ向上ニ伴ヒマシテ、四百五十圓デハ少額過ギル、國民生活ノ安定ニ資スル點カラ考ヘマシテモ過少デアルト云フコトハ、商工省デモ認メタノデゴザイマス、當時九百圓程度ニ簡易保險ノ金額ヲ上ゲタラドウカト云フ問題ガゴザイマシテ、色々考究シタノデゴザイマスガ、理窟ト致シマシテハ國民生活ノ安定ニ資スル保險事業ノ施設ヲ擴充スルト云フコトハ、商工省ト雖モ同感デアリマシテ、趣旨ハ贊成シテ居ル譯デアリマス、唯社會施設ヲ擴充スルコトハ、其ノ擴充スルコトニ依ツテ受ケル利益モアリマスガ、ソレニ伴フ影響モ考慮シナクチャナラヌト云フ考ヲ以テマシテ、九百圓ニ上ゲタ場合ノ民營保險ノ影響等ヲ考慮致シマシテ、昨年ハ七百圓ニシタ譯デアリマス、隨テ其ノ理窟ト致シマシテハ、モウ少シ上ゲナクテハナラヌト云フ意見ハ持ツテ居リマスガ、現在直グ千圓程度ニ上ゲルト云フコトニ付テハ、相當考慮シナクテハナラヌト云フヤウニ考ヘテ居リマス

○金澤委員 實際言ヒマスト云フト、物價ノ騰貴ガ可ナリ進ンデ居リマス、今マデ四

百五十圓ガ七百圓ニアツタト云ヒマシテモ、今カラ十年前ノ金額カラ云ヒマスト、相當ニ物ガ上ツテ居リマスノデ、貰ツタ金額ノ數ハ多クツテモ、ソレニ依ツテ生活安定ヲ受ケル内容ニ至ツテハ、殆ド私ハ變ツテ居ナイト思ヒマスルノデ、實際カラ申シマスト、昨年上リマシタケレドモ、唯金額ノ名稱ガ上ツタノデアツテ、救済サレルベキ内容ニ至ツテハ、私ハ増シテ居ナイヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、而モ一面ニ於キマシテハ、今マデ三十億圓内外ノ一般保險會社ノ新契約デアツタモノガ、モウ四十一億五千萬圓ニモ新契約ガ出來マスシ、又簡易保險ノ方ハ金額ガドン／＼増シテ居ル時期デアリマスカラ、寧ロ是ハ國營論ニ付キマシテハ急激ニドウスウト云フコトハ一寸實行シ兼ネルデセウガ、斯ウ云フモノヲ色色ノ點ヲ實行ニ移ス一ツノ段階ト致シマシテモ、簡易保險ノ金額ヲ尙ホ今年アトリハ私ハ上ゲテモ宜イノデハナイカ、九百圓ナリ、九百五十圓ナリニ上ゲテモ宜イノデヤナイカト私ハ考ヘテ居リマス、其ノ點ヲ一ツ伺ヒマス

○牧政府委員 簡易保險ノ金額ヲ上ゲルコトハ宜シイト云フ意見ハ、商工省ト雖モ持ツテ居リマスガ、其ノ上ゲルコトノ影響等

ヲ考慮シマシテ、昨年ハ七百圓ニ止メタノデアリマスガ、一面顧ミマスト、四百五十圓ノ時代ニドレ位ノ契約ガ多カツタカト申シマスト、數字ヲ正確ニ記憶シテ居リマセヌガ、先ヅ百八十圓位ガ平均ニナツテ居ルト思ヒマス、隨ヒマシテ制度其ノモノト云フヨリモ、其ノ利用ノ實際ト申シマスカ、サウ云フ方面ヲ顧ミマスト、一躍千圓ニ上ゲルコトガドウカト云フヤウナコトモマア考ヘラレルノデアリマス、ソレデハ簡易保險デハイカヌカト申シマスト、是ハ民營保險トノ比較ニナルヤウデゴザイマスガ、民營保險デ十分或ル程度ノ需要ハ満足シ得ルダラウト思ヒマス、保險料ノ點其ノ他ニ付キマシテハ、サウ簡易保險デナクテハナラヌト云フヤウニモ考ヘラレナイ點モアルノデアリマス、決シテ簡易保險トノ利害得失ヲ論ズル譯デハゴザイマセヌガ、現在ノ民營施設ニ依ツテ民間ノ需要ヲ滿スコトモ出來ヨウカト考ヘル、サウ云フ方面ヲ色々考ヘ合セマシテ現在デハ七百圓、其ノ七百圓モ昨年ノ十月ニ實施サレタケデゴザイマシテ、從來ノ經驗ニ依リマスト、最高ノ金額ニマデハ中々行カナイヤウナ傾向デゴザイマスカラ、此ノ實施ノ成績ヲ見タ上デモ宜シクハナカラウカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ

居リマス、併シ是ハ厚生省ノ所管デゴザイマスカラ、厚生省ノ當局ノ御出席ノ時ニ改メテ御答辯願ヒタイト思ヒマス

○金澤委員 大體私ノ質問ハ終ルノデアリマスガ、實際言ヒマスト、重工業ノ職工ガ相當ノ勢デ甚シク増シテ居リマス、ソレガ例ヘバ中學卒業生ガ官廳アタリデハ二十五圓、三十圓トカデ雇ハレテ居ルガ、中學卒業生デモ四十圓、四十五圓ニ重工業アタリデハ雇ハレテ居リマスシ、小學校卒業生デモ三十圓、三十五圓ニモ職工見習トシテ入ツテ居ルヤウナ譯デアリマシテ、重工業ガ非常ナ勢デ進メバ進ム程、或ハ簡易保險ト云フヤウナモノモ金額ヲ増シテ相當宜インデヤナイカ、其ノ増シ方ハ十萬トカ二十萬トカ可ナリノ勢デ増シテ居リマスカラ、今マデノヤウナ狀況ト社會ノ情勢モ變ツテ居ルヤウニ私モ考ヘルノデアリマシテ、ソレトモウ一面ニハ保險ト云フモノノ性質カラ二本建ニスルニシテモ、モウ少シ金額ヲ或ル程度上ゲル方ガ吾々ノ氣持ニ合フンデヤナイカ、斯ウ云フ心持ヲ申上ゲタノデアリマス、厚生省ハ厚生省トシテノ意見ガアリマセウガ、商工省トシテモ其ノ點ニ付テハ尙ホ去年ノコトデハアリマシタガ、引續イテ御研究置キラ願ヒタイト云フ考デアリマ

テ御研究置キラ願ヒタイト云フ考デアリマ

ス、私ノ質問ハ是デ終リマス

○田中委員長 紅露昭君

○紅露委員 昨日委員長カラ資料ノ御話ガゴザイマシタガ、政府ノ方カラ二三資料ヲ戴キマシタシ、同僚西川委員カラ二三御要求モゴザイマシタノデ、整理致シマシテ十カ十五ニナルト思ヒマス、ソレデ私ノ本論ト申シマスガ、質疑ヲ致シマス前ニ、政府ニ對シテ豫備的ノ質問ヲ數點致シタイト思フノデアリマス、豫備的質問ト云フト洵ニオカシナ話デアリマスガ、過日政務調査會ヘ政府ノ方カラ御見エニナリマシテ、伺ツテ居リマス、本法案ハ昨年吾々ガ成立サセマシタ交通統制法ヲ眞似テト申シマストオカシイノデスガ、之ニ則ツテオヤリニナツタヤニ聞イテ居リマス、ソレデ私幸ニ交通統制法ノ委員トシテ審議ニ當ツタノデアリマスガ、此ノ審議ヲ進メマスル中ニ、色々ナ障礙ガ出テ來タノデアリマス、一寸二三ノ例ヲ申上ゲマスレバ、例ヘバ交通事業トハ何ゾヤト云フヤウナコトヲ豫メ確メテ置キマセヌ爲ニ、質問ヲシテ行ク途中ニ交通事業ノ意義トカ範圍ト云フモノガハツキリシテ居ナカッタ、隨テ交通事業ヲ統制スルト云フコトニナリマス、例ヘバ阪神ガ數百萬圓ヲ投ジテ甲子園ヲ經營シテ居

ル、或ハ東横電車ガ百貨店ヲ經營シテ居ル、阪急ガ百貨店ヲ經營シテ居ル是亦數百萬圓ヲ投ジテヤツテ居ルノデアル、斯ウ云フヤウナ事業ガ果シテ交通事業ノ中ニ入ルノカ入ラナイノカト云フヤウナ問題ニ打突カツテ困ツタノデアリマス、又中島前鐵道大臣ハ交通事業統制ノ爲ニ、國有鐵道モ入レテ宜イノダ、軍事上必要ナモノ、或ハ東海道ノ幹線ノ如キハ出資ハ出來ヌケレドモ、差支ノナイ限リ交通統制ノ中ニ投資シテ宜イノダト云フヤウナ御言明ガアツタノデアリマス、其ノ時ニ然ラバ一體此ノ交通統制法ニ依ツテサウ云フヤウナ國鐵ハ出資ヲナサルノカドウカト云フコトヲ質問致シマシタ所ガ、政府ノ方デハドウモハツキリシマセヌデ、結局政府委員カラ此ノ統制法ヲ拵ヘル時ニハ國有鐵道ヲ入レルカ入レナイカト云フコトハ考ガ付カナカッタ、紅露委員ノ質問ニ依ツテ實ハ氣ガ付イタノデアルト云フヤウナ御答辯モアリマシタ、サウ云フヤウナ意味デ此ノ交通事業トカ保險事業ト云フモノノ意義、範圍、性質ト云フヤウナモノガハツキリシテ居リマセヌト、昨年ノ例ニ鑑ミマシテ幾多ノ疑問ト審理ニ差支ガ出來マスカラ、決シテ政府ニ對シテ意地ノ惡イ質問ヲ申上ゲル譯デハナイ

ノデアリマスガ、所謂私ノ本論ト申シマスガ、本法案ノ審議ニ入りマス前ニ、數點御同致シテ置キタイノデアリマス、質問ノ第一ハ本法ノ九十九條デアリマスガ、此ノ「勸告スルコトヲ得」ト云フ「勸告」ノ意義ト性質ヲ伺ツテ置キタイノデアリマス、併シ本論デ詳シク伺ヒマスカラ、唯簡單ニ其ノ意義ト性質ダケ伺ヘバ宜シイノデアリマシテ、尙ホ此ノ豫備的質問ニ付キマシテハ「イエス」「カ」「ノー」カダケ伺ツテ置ケバ宜イモノガ澤山アルト思ヒマスカラ、先ヅ勸告ノ意義ト、ソレカラ法律上ノ性質ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○牧政府委員 勸告ノ法律上ノ意義ハ大變難カシイ問題デゴザイマシテ、商工省デハ之ヲ一種ノ行政的處分ト考ヘテ居ル譯デアリマス、尙ホ其ノ法律上ノ效果ニ付キマシテハ、唯注意ヲ促スダケノ效果ヲ生ズルモノダト考ヘテ居リマス

○紅露委員 行政處分ト致シマス、管理命令トカ處分命令トカ幾多ノモノガ出テ參ルト思ヒマスガ、ソレハ所謂行政法上ノ命令ト解釋シテ宜シウゴザイマス

○牧政府委員 處分命令ト考ヘマス

○紅露委員 能ク分リマシタ、ソレカラ第二ニ伺ヒタイノハ、是ハ本當ニ「イエス」「カ」「ノー」

カダケデ結構デアリマスガ、本法案ヲ御提案ニナルニ際シマシテ、司法省、大藏省、逓信省、厚生省、內務省ト御打合セ濟デアリマスガ、ソレヲ伺ヒタイト思ヒマス

○牧政府委員 大藏、司法、厚生、拓務省企畫院等ト打合セテ居リマス

○紅露委員 內務省トハ打合セハナカッタデアリマセウカ

○牧政府委員 內務省トハ打合セテ居リマセヌ

○紅露委員 ソレカラ本法律ハ假ニ成立致シマシタ時ニ、臺灣、朝鮮、關東州、滿洲ノ所謂外地ニ適用ナサル積リデアリマセウカ、如何デアリマス

○牧政府委員 其ノ希望デ今交渉中デゴザイマス

○紅露委員 尙ホ外國會社ニ付テハ適用上ドウ云フコトニナルノデゴザイマセウカ

○牧政府委員 現在勅令デ委任サレテヤツテ居ル其ノ儘デ行ク積デアリマス

○紅露委員 ソレカラ百五條ニ「協議」ト云フ文字ヲ使ツテ居リマスガ、保險會社ノ管理ヲ委託サレタ場合ニ、管理ノ委託ヲ受ケテ居ル會社ガ管理ヲヤリツツアル際ニ、合併又ハ保險契約ノ移轉ニ付テ協議スルコトガ出來ル、此ノ協議ハ事實行爲デアリマスガ、

ソレトモ一種ノ法律行爲ト見テ宜イノデゴザイマスガ、其ノ法律上ノ性質ハドウナリマスカ

○牧政府委員 契約ノ申込ト見テ居リマス

○紅露委員 ソレカラ「アクチュアリー」ノ

問題デアリマス、是ハ今度初メテ此ノ「アクチュアリー」ノ制度ヲ御設ケニナツタノデアリマスガ、「アクチュアリー」ノ法律上ノ地位——ト云フト一寸難シイソデアリマスガ、要スルニ會社ノ使用人或ハ從業者ト見ルノカ、一種特別ノ地位ヲ認メルノデゴザイマセウカ、其ノ點モ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○牧政府委員 保險計理人ニ付キマシテハ、會社ニ依ツテ選任セラレマシテ、保險計理ニ關スル事項ヲ擔當スル一種ノ使用人ト云フヤウニ認メマス

○紅露委員 ソレカラ此ノ法案ヲ通讀致シマス、幾多ノ命令處分ガ出ルノデゴザイマスガ、之ニ付テ行政法上、訴訟訴願ガ許サレル場合モアリマセウガ、念ノ爲ニドノ命令ニハ行政訴訟訴願ガ許サレ、ドノモノハ許サレスト云フコトガ御分リニナツテ居レバ、豫メ御示ヲ願フト、私共モ議論ト申シマスガ、審議ヲ進メテ行ク場合ニ非常ニ便利ト思ヒマス、御分リニナツテ居レバ御示

ヲ願ヒタイト思ヒマス

○牧政府委員 事業免許ノ取消ニ付キマシ

テハ、行政訴訟ハ許シマス、合併等ニ付キマシテハ司法上ノ無効ノ訴等ノ救済手段ガ認メラレマス

○紅露委員 ソレカラ先程一寸申上ゲマシ

タガ、交通事業統制法デモ非常ニ問題ニナツタノデアリマスガ、所謂保險事業統制法、保險事業何々ト書イテアル、此ノ保險事業ノ意義ト性質ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○牧政府委員 保險ト申シマスト商法ニハ、

生命保險及ビ損害保險ノ定義ヲ掲ゲテ居リマスガ、要スルニ大體ニ於キマシテ、偶然

ノ事故ニ依ル損害ノ填補又ハ需要ノ充足ニ充テル爲メ、多數人カラ金錢等ヲ支出セシメマシテ、之ヲ管理シテ行クコトヲ業トスルモノト云フヤウニ考ヘテ宜イカト思ヒマス

○紅露委員 豫備的質問ハモウ一ツデアリ

マス、事業ノ停止ト云フコトガアチコチニ書イテアリマスガ、事業ノ停止ノ意義ト範圍トヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○牧政府委員 事業ノ停止ガ二ツゴザイマ

シテ、百條ノ事業ノ停止ハ、是ハ命令デゴザイマシテ、其ノ命令ニ從フベキ義務ヲ生ズル譯デゴザイマス、ソレカラ百三條ノ事業ノ停止ト云フノハ、事業ノ停止ノ形成的效

果ヲ生ズルモノデアリマス、隨テ之ヲ解除シナイ以上ハ停止ノ狀態ヲ生ズル處分デアリマス

○紅露委員 場合ハ分リマシタガ、先程伺

ヒマシタ其ノ範圍デアリマス、事業停止ノ範圍ハドウ云フ風ニナルノデアリマスガ

○牧政府委員 事業停止ノ處分ガアリマス

ト、積極的ナ事業ハ出來ナイ、從ヒマシテ新契約ヲ締結スルトカ、新ナル投資ヲスルトカ、サウ云フコトハ出來ナイ、サウ云フヤウニ考ヘテ居リマス、隨テ契約者トノ關係ニ付キマシテハ、現状ノ儘ト考ヘテ居リマス

○紅露委員 サウ致シマス、既契約ニハ

效力ハ及バナイ、隨テ保險料ノ取立、或ハ保險料ノ支拂ト云フヤウナ契約者ト會社トノ間ノ效果ニハ差支ナイ、斯様ニ解釋シテ宜シウゴザイマスガ

○牧政府委員 其ノ通りデアリマス、百四條ノ處分ガアリマシタ場合ニ、初メテ會社ト契約者トノ關係ヲ生ズルモノト考ヘテ居リマス

○紅露委員 豫備的ノ質問ハ大體是デ終リ

マシタ、ソレデハ本論ニ入りマシテ逐次御尋ヲ申上ゲタイト思ヒマス

私ハ素人デゴザイマスガ、本委員ノ中ニハ

八木先輩ノ如キ直接此ノ事業ニ御携ハリニナツテ居ル方モアリマスシ、幾多御研究ニナツタ方モアリマスガ、私ハ主トシテ理論的ニ大キナ問題ニ付テ御伺シタイト思フノデアリマス、大體私ノ御尋スルコトヲ大キク分ケマスレバ、保險法學ノ立場カラ、保險數學ノ立場カラ、保險醫學ノ見地カラ、ソレカラ保險財政學ノ見地カラ、保險經營學ノ見地カラト云フヤウナ五ツノ方面カラ御伺致シテ見タイト思ヒマス、ソレデ此ノ際委員長ニ御願致シテ置キタイコトハ、保險數學ノ問題ニ付キマシテハ、厚生省ノ大臣デナクテモ結構デスカラ、適當ナ人ニ然ルベキ時期ニ御出席ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ保險法學ノ立場カラ御尋スル際ニハ、本法ト民法トノ關係、本法ト破產法トノ關係、本法ト商法トノ關係、本法ト會社法トノ關係、本法ト刑事訴訟法、民事訴訟法トノ關係、大體ソナモノデアリマス、是ハ司法省ノ民事局長、刑事局長ノ御出席ヲ要求致シテ置キマス、ソレカラ保險財政學ト申シマスカ、保險經營學、斯ウ云フ方面カラハ主トシテ所得稅法、營業收益稅法、國稅徵收法、相續稅法、其ノ他印紙稅法、登錄稅法、色々サウ云ツタ方面カラ御尋シタイト思ヒマスルノデ、大藏當局ノ御出席ヲ要求致シ

テ置キマス、ソレカラ尙ホ醫學、數學兩方
一緒ニシマシテ、内務省ノ政府委員ノ御出
席モ要求致シテ置キタイと思ヒマス、尙ホ
法制局ノドナタカ、起案ニ當ラレマシタ事
務官デモ宜シウゴザイマスガ、御出席ヲ要
求致シテ置キマス、ソレデ今日ハ司法、大
藏、内務、厚生各省ノ政府委員モ居デニ
ナラナイヤウデアリマスカラ、主トシテ商
工省ノ御管轄ノ、又商工省ノ政府委員ニ依
ツテ御答ノ願ヘルモノノミニ付テ是カラ質
問致シタイと思ヒマス

先ヅ第一ニ伺ヒタイコトハ、保險計理人
所謂「アクチュアリー」ノ問題デアリマスガ、
先程豫備の質問デ伺ヒマス、商法ニ謂フ
會社ノ使用人ト解釋シテ居ルノダト斯ウ云
フ御話デアリマスガ、ソレダト致シマス
此ノ條文ハ殆ド空文ニ等シイ條文ダラウト
私ハ思フノデアリマス、何故カト申シマス
ト、此ノ條文ヲ見マス、保險計理人ヲ拵
ヘテ、サウシテ政府ハ色々ナ書類ニ付テ、
殊ニ報告事項中ノ責任準備金、其ノ他保險
契約ニ關スル準備金、或ハ未收保險料トカ、
保險約款ニ定メラレテ居ル貸付金ノ計算ト
云フヤウナコトニ付テ責任ヲ帶ビロ、サウ
シテ確認セヨ、確認シテ書類ヲ商工省ニ
出シテ來タ場合ニ、商工省ガソレヲ調べ

テ見テ、若シ不正アリ不當アリトシタナラ
バ、「アクチュアリー」ヲ直接呼出シテ、會
社ニ關係ナク取調モ出來ルノダ、若シソレ
ノ結果不正ガアレバ、無論會社ノ重役ニ對
シテ責任モ負ハセルガ、尙ホ別箇ニ重大ナ
ル刑罰ヲ「アクチュアリー」ニ對シテ科スル
ノダ、斯ウ云フヤウナ御考ニナツテ居ルヤ
ウデアリマス、洵ニ結構デス、結構デア
ケレドモ、會社ノ使用人デアル以上ハ、會
社カラ雇ハレテ居ル、今保險局長モ仰セラ
レタヤウニ、會社ト雇傭契約ニ依ツテヤツ
テ居ル者ダ、言換ヘレバ會社カラ月給ヲ貰
ツテ、會社ニ生活ノ保障ヲシテ貰ツテ居ル、
サウ云フ人ニ斯ウ云フヤウナ重大ナ責任ヲ
負擔サセ、又刑罰ヲ以テ臨ンダ所デ、ソレ
ハ到底行ハレルモノデハナイト、私ハ思フ
ノデアリマス、又實際サウダト思フ、會社
カラ月給ヲ貰ツテ會社ノ重役ノ指揮命令ニ
從ツテ、斯ウ云フヤウナ計理ヲシテ居ル者
ニ、本當ノコトヲ言ヘ、一寸一分タリトモ
不正不義ガアツタラ許サヌゾト言ツテ見タ
所デ、ソレハ人情常ノトシテ到底行ハレル
モノデハアリマセヌ、又ソシナコトヲヤツ
テ計理人ガ呼バレテ、サウシテ刑罰デモ科
セラル云フヤウナコトガ新聞ニデモ出
ルト云フコトニナルト、會社ハ破滅デゴザ

イマスカラ、極力計理人ハサウ云フコトヲ
避ルケニ違ヒナイ、避ケヌマデモ處罰サレ
ルノガ怖イカラ、ドウモソレハ不注意デゴ
ザイマシタトカ、或ハ氣ガ附キマセヌデシ
タトカ、或ハ會社ノ他ノ者ガヤリマシタ帳
簿ヲ參考ニシマシタトカ何トカ言逃レヲシ
テ、瓢箪デ鯨ヲ押ヘルヤウナコトヲ言ツテ、
決シテ眞相ハ押ヘラレルモノデハアリマセ
ヌ、是ハ本當ニ机上ノ計畫デ空論デス、又
之ヲ刑罰法規ニ比較シテ見テモサウデハナ
イカ、御承知ノ通り、刑罰ニハ犯人ノ藏匿若
クハ證據湮滅ノ規定ガアリマス、罰金以上若
刑ニ處セラレタ所ノ犯人ヲ、其ノ親族ヤ、其
ノ從業者ヤ、サウ云フ者ガ之ヲ隱蔽スル、
又逃スト云フヤウナコトハ、當然ノ話デア
ル、人情ノ發露ナノデス、刑法ハサウ云フ
場合ニハ處罰シテ居ラナイ、又犯罪ノ證據
湮滅ノ場合ニモ、ヤハリ刑法ハ犯罪ノ證據
ヲ湮滅スルノミナラズ、其ノ證據ヲ偽造シ
テモ宜イ、其ノ證據ヲ湮滅シテモ破棄シテ
モ尙且ツ證據湮滅罪ヲ構成セシメナイデ、
刑法ハ之ヲ看過シテ居ル、子供ガ泥棒ヲシ
テ來タカラト云ツテ、親ガソレヲ警察ニ突
出スト云フコトハ、道德上ハ當然カモ知レ
マセヌガ併シ人情ノ常トシテ、子供ガ泥棒シ
テ來タノヲ親ガ匿ス、親ガ選舉違反ニ問ハ

レテ、子供ガ其ノ書類ヲ破棄シテシマフト
云フヤウナコトハ、是ハ當然デハアリマセ
ヌカ、一國ノ刑罰法規サヘモ、尙且ツ之ヲ
看過シテ居ル、ソレヲ會社ノ雇人デ、會社
カラ月給ヲ貰ツテ、會社カラ飯ヲ食ハシテ
貰ツテ居ル者ニ、斯ウ云フヤウナ重大ナ責
任ヲ負ハセテ見タ所ガ、是ハ到底不可能ナル
ノミナラズ、一國ノ刑罰法規ノ根本精神ニ
是ハ反スルと思フ、司法省ト御打合せニナ
ツタト言フガ、是ハ證據湮滅罪或ハ犯人藏
匿罪ノ精神ト抵觸スル、何レ、司法省ニ聽
キマスケレドモ、サウ云フヤウナコトヲシ
テ見タ所ガ、ソレハ到底駄目デス、又私共幾
多ノ訴訟記録ヲ讀ミマスケレドモ、某縣ノ
會計課長ガ何百萬圓カノ金ヲ使ヒ込ンダ、
其ノ下ノ屬官ヤ又雇主ガ知ラナカツタノカ、
ドウモ記録ヲ讀ンデ見ルト知ツテ居ル、知ツ
テ居ルケレドモ、サウ云フコトヲ言ヘバ誠
ニナル、上官ニ迷惑ヲ掛ケルコトニナルカ
ラ知ラヌ顔ヲシテ居ル、是ハ人情ノ常デア
ル、會社ノ社長ヤ事務ナリ重役カラ睨マレバ、
自分ハ誠ニナルコトハ決ツテ居ル、其ノ
誠ニナルコトガ決ツテ居ル従業員ニ、斯ウ
云フ大キナ九十條ト云フヤウナモノヲ拵ヘ
テヤツテ見タ所ガ、效果ハ舉リハシナイト
私ハ思フノデアリマス、又假ニ之ヲ效果ヲ

舉ゲヨウトシタラ、其ノ計理人ハ即座ニ職
デス、假ニ私ガ社長ニシテモ何カ一寸間違
ヒガアル、未收保険料ニ一寸間違ヒガアル、
保険約款ノ規定ニ依ル貸付金ノ計算ガ一寸
間違ツタ、サウ云フヤウナ場合ニ一々エラ
イ刑罰ヲ科セラレ、又商工省ニ呼出サレ
テ是ハドウダトキウ／＼ヤラレ、ヤラレ
テ一寸口ヲ立ラセバ職ニナル、斯ウ云フ
コトヲヤツタナラバ、殆ド計理人ハ飯ガ食
ツテ行ケナイト思フ、極論スレバ計理人ノ
職務ヲ奪フコトニナル、會社ノ爲ニナルト
真相ガ得ラレナイ、刑罰ノ根本法規ニ反シ、
尙且ツ保險計理人ノ地位ヲ奪フヤウナ法文
ナラバ、是ハ止メテシマツタガ宜イ、何デ
斯ウ云フコトヲ御掲ゲニナツタノカ知りマ
セヌガ、若シ斯ウ云フ第九十條九十一條ニ
依ツテ會社ノ計理ト云フモノヲ完全ニヤツ
テ行カウ、サウシテ恐ラク此ノ法ノ狙ヒド
コロハ、立派ナ「アクチュアリー」ヲ設ケタ
インダ、完全ナル「アクチュアリー」ガ欲シ
インダト云フ意味デオホヘニナルナラバ、
斯ウ云フコトデハ私ハイカスト思フ、モツ
ト他ニ方法ハ幾ラモアリマス、例ヘバ大藏
省ニ於ケル銀行検査官ノ如キヲ設ケテモ宜
イガ、何モ無理ニ保險會社ニ獨リ検査官ヲ
置ク必要ハナイ、弱小會社ト云フノハ大シ

テ無イノデスカラ、所謂五大會社トカ四大
財閥ト云フヤウナ大キナ會社ト云フモノ
ハ、決シテ惡イ事ハシテ居ナイ、恐ラク直
接検査ナドヲスル規定ハ設ケテ居リマスケ
レドモ、五大會社、四大財閥ノ關係ノ會社
ニハ、何レ後デ聽キマスケレドモ、恐ラク
直接検査ナドヲヤツタコトハ無イデアラ
ウ、大藏省ガサウデア、銀行検査、緊急
検査ノ規定ヲ設ケテ三井、三菱、住友、第
一ト云フヤウナモノニ検査ヲヤツタコトハ
無イ、大藏省ハヨウヤラナイ、ダカラ斯ウ
云フヤウナコトヲスルナラバ他ニ方法ハ幾
ラモアリマス、コンナ机上ノ計畫ヲセヌデ
モ、恐ラク商工省ニ保險計理人ノ代リニ保
險検査官ト云フヤウナモノデモ五人カ八人
設ケテ、直接ニヤツタ宜イ、御自分ガ檢
査ノ權限ヲ持ツテ居ルノダカラ、何モ無理
ニ計理人ナント云フ、雇人ニ重大ナ責任ヲ
負ハシテ、サウシテ重大ナ刑罰ヲ科シテ、
效果ノ擧ラヌコトヲヤラヌデ、自分ガ自ラ
行ツテ計算シタラ宜イ、自分ガ自ラ之ヲ確
認シタラ宜イ、幾ラモ方法ガアリマス、ソ
レカラ若シドウシテモ保險計理人ノ制度ヲ
設ケタイト云フノナラ、計理人ニモウ少シ
地位ヲ安固ニナルヤウニシテヤラナケレバ
ナラヌ、直グニ職ラレルヤウナコトヲ會社

ニ對シテヤラシテ置イテ、サウシテ完全ナ
效果ヲ收メヨウツツテ、ソレハ全ク木ニ縁
ツテ魚ヲ求ムルヤウナモノデ、何等效果ハ
アリマセヌ、況ヤ刑罰法規ノ根本ヲ成ス所
ノ刑法ノ證據湮滅及ビ犯人藏匿ノ趣旨ニモ
反スル、斯ウ云フヤウナ條文ヲ一體ドウシ
テ御拵ヘニナツタノカ、又效果ノ擧ラナイ
コトハモウ分リ切ツテ居ルノニ斯ウ云フヤ
ウナコトヲナゼ御拵ヘニナツタノカ、此ノ
立法ヲナサレタ所ノ理由ト、ソレカラ私ノ
今申上ゲタ殆ド空文ニ等シイモノデアルト
云フコトニ付テ論駁ヲシテ戴イテ、ソレカ
ラ尙ホ政府ハ他ニ方法ガアルノニソレヲヤ
ル御意思ハナイカ、ソレカラモウ一ツハ、
刑法ノ根本精神ト反スルガ、司法省ハサウ
云フ點ニ付テ觸レタカ觸レナカツタカ、ソ
レカラ若シドウシテモ此ノ保險計理人ヲ置
キタイナラ、何等カソコニ保險計理人ノ地
位ヲ安固ニセシメル、現在アナタ方ダツテ
ヤツテ居ルデヤアリマセヌカ、官吏服務紀
律ニ依ツテ身分ヲ獲得シテ居リナガラ、ヤハ
リ自己ノ上官ノ壓迫ト云フカ、完全ニ職務ノ
遂行ガ出來ヌ、幾多ノ弊害ト幾多ノソコニ
事情ガ出來テ來ルカラ、官吏身分保障令ト
云フモノガ出來テ居ルデヤアリマセヌカ、
官吏ニシテ尙且ツ然リ、況ヤ渺タル一營利

會社ノ使用人ニ是ダケノ重大ナ責任ヲ負ハ
シテ、サウシテ效果ガ擧ル答ガナイ、此ノ
數點ニ付テ、私ハ政府ニ無理ヲ言フノデハ
アリマセヌカラ、政府ノザツクバラシ御
答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス
○牧政府委員 御答致シマス、「アクチュ
アリー」ヲ置ク必要ニ付キマシテハ改メテ
申上ゲマデモナイカト思ヒマスガ、御承知
ノ通り保險會社ノ經營ハ數理ヲ基礎トシテ
根本ノ經營方針ト云フモノガ立ツテ居ルモ
ノデゴザイマス、責任準備金トカ其ノ他色
色ナ積立金等ガゴザイマスガ、ソレ等ノ計
算ガ正確デアルコトヲ要スルコトハ御承知
ノ通りデゴザイマス、是等ノ計算ニ誤リガ
アルト云フコトニナリマス、其ノ背後ニ
居リマス多數ノ契約者ニ、聽テハ迷惑ヲ掛
ケルコトモアラウカト考ヘルノデアリマス
隨テ數理ヲ根本ノ經營方針ノ根據トスル生
命保險會社ニ於キマシテハ、之ノ専門知識
ヲ有スル人ヲ其ノ事務ノ擔任ニ當ラシムル
コトノ必要デアルト云フコトハ御承知ノ通
リデゴザイマス、多クノ會社ニ於キマシテ
「アクチュアリー」ヲ置イテ居ル實情モ是等
ノ必要ニ基クノデゴザイマス、最近御承知
ノ通り生命保險事業ノ進歩ハ甚ダ著シイ
ノデアリマスガ、是等ノ事務ガ煩瑣ヲ加ヘ

ル、又資産ノ増大ヲ加ヘルコトニ連レマシテ、益々「アクチュアリー」ヲ必要トスルコトハ當然デゴザイマス、隨テ各社ニ於テサウ云フモノヲ置イテ居ルノデアリマス、業界ニ於キマシテハ此ノ「アクチュアリー」ヲ或ル程度地位ヲ向上セシメテ、サウシテ是等ノ要求ニ合致サセルト云フ意向モアルノデアリマス、政府ニ於キマシテハ是等ノ専門ノ者ヲ置キマシテ、保險會社ノ根本經營方針ニ付キマシテ誤リナカラシメヤウト云フ趣旨ヲ、此ノ法律ニ依リマシテ現ハシタ次第デアリマス、隨テ其ノ「アクチュアリー」ノ職務ト致シマシテハ、ソレ等ノ重要ナル計算ニ對シマシテ誤リノナイコトヲ確認スルト云フ職務上ノ義務ヲ認メテ居ルノデゴザイマス、多クノ保險ニ關スル先進國家ノ制度ノ整ツタ國ニ於キマシテモ「アクチュアリー」ノ制度ヲ認メマシテ、之ニ或ル程度ノ職務ヲヤラシメテ居ルト云フコトハ御承知ノ通りデゴザイマス、寧ロ日本ノヤウニ急激ニ發展シテ參リマシタ國ニ於キマシテ、未ダ此ノ制度ガナカツタノハ遲過ギルノデハナイカト云フヤウナ感じモ持ツテ居ル譯デアリマス、御指摘ノ點ハ私共ガ一番考慮シナケレバナラス點ダト考ヘルノデゴザイマスガ、ソレハ「アクチュアリー」ニ對

シテ會社ト離レテ諮問ヲスルノデゴザイマス、謂ハバ會社ヲ通ゼズニ「アクチュアリー」ニ對シテ或ル種ノ意見ヲ聽クト云フコトニアルノデハナイカト思ヒマス、謂ハバ會社ノ意見ト「アクチュアリー」ノ意見トガ食違ヒガアルダラウト云フヤウナ豫想ガサレル場合、其ノ違フコトニ依ツテ或種ノ經營上ノ弊害——弊害ト申シマスカ、影響ガアラウカト思ハレル場合ニ聽ク、斯ウダラウト聽カレタ人ハ、先程申サレマシタヤウニ使用人デアアル、使用人ガサウ云フコトヲ聞カレテ本當ノコトガ言ヘナイデハナイカト云フ御尋デゴザイマシテ、私共ハソレハ運用上ハ最モ注意シナクテハナラナイ御注意ダト承ツタノデアリマス、此ノ制度ヲ設ケタ趣旨ヲ申シマス、保險會社ガ色々ナ計畫ヲ立テマス、又色々ナ計算ヲスル場合ニ、「アクチュアリー」ハ純粹技術的ノ立場ニ居リマシテ計算ナリ何ナリスル譯デゴザイマスガ、會社ノ當事者ト致シマシテハ、謂ハバ保險ハ商品デゴザイマス、商品デアアルガ故ニ、營業政策的ノ考慮ヲ加ヘルモノデアラウト思ヒマス、數學上カラ出タ其ノモノヲ割出スノデナク、或種ノ營業政策的ノ考慮ヲ加ヘテ初メテ圓滑ニ割出スモノダト考ヘルノデアリマス、ソレ等ノコトガドウ云

フ風ニ影響スルカ、主務大臣ガ監督上ノ必要ガゴザイマシテ、ソレ等ノ考慮ハ會社トシテ當然デハゴザイマスガ、ソレ等ノ考慮ヲスルコトニ依ツテ或種ノ惡影響ガアルト豫想セラレルヤウナ場合ニ、主務大臣ガ判斷ノ材料ヲ取ル意味ニ於キマシテ、「アクチュアリー」ニ對シテ純粹技術的立場ニ立ツ意見ヲ求メル、之ニ依ツテ監督ノ實效ヲ擧ゲタイト、斯ウ云フ趣旨デゴザイマス、併シナガラサウ云フコトニスル場合ニハ、今申上デマシタ通りニ會社當事者ト「アクチュアリー」トノ間ニ、或ハ意見ガ違ツテ居リハシナイカト云フ豫想ガ付クヤウナ場合ガアラウカト考ヘルノデゴザイマス、ソレニ對シテ「アクチュアリー」ニ會社トハ離レテサウ云フ意見ヲ聽クコトハ、御指摘ノヤウナ非常ニ重要ナ結果ヲ生ズル場合ガアラウカト考ヘマス、隨テ此ノ規定ノ運用ニ付テハ十分注意シロト云フヤウナ御指摘デアルヤウニ考ヘルノデゴザイマス、大體ノ御尋ニ對シテ御答ヲ申上ゲタ積リデゴザイマス

○田中委員長 午後ハアリマセス
○紅露委員 ソレデハ又明日デモ質問ヲ繼續サシテ戴クコトニ致シマス
○田中委員長 ソレデハ紅露君カラ御要求ニナリマシタ關係當局ノ御出席ハ、重ネテ委員長ノ方デ適當ニ處置致シマス、今日ハ此ノ程度ニ止メマシテ、次會ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、之ヲ以テ散會致シマス
午前十一時四十一分散會

昭和十四年三月一日印刷

昭和十四年三月二日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局